

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320255	X-21-B-3-320255	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
韓国語 6a				吉澤 文寿	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	4年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

前セメスターまでの学習を踏まえて、より実践的な演習を行う。韓国の新聞社説を教材として、その読解を正確に行うとともに、南北朝鮮に対する理解を深めることを目指す。日本語文献でも同様だが、韓国語文献を読む場合に、その文章の背景としての基礎知識がなければ理解できない。受講者がそのような当然のことを体得することも目指している。

各回の授業内容

第1回 【授】 ガイダンス 【前・後】 予習・復習各1時間	第9回 【授】 演習(8) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第2回 【授】 演習(1) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第10回 【授】 演習(9) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第3回 【授】 演習(2) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第11回 【授】 演習(10) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第4回 【授】 演習(3) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第12回 【授】 演習(11) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第5回 【授】 演習(4) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第13回 【授】 演習(12) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第6回 【授】 演習(5) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第14回 【授】 演習(13) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第7回 【授】 演習(6) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第15回 【授】 演習(14) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第8回 【授】 演習(7) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第16回 【授】 まとめ 【前・後】 予習・復習各1時間

成績評価方法

出席が2/3以上の者に受験資格を与え、成績は試験結果(50%)、平素点(授業態度、課題の提出状況など、50%)によって評価する。授業中に発表した課題は、授業中に評価し、解説する。
上記15回の講義のうち、1回分を課題レポートに代替する。詳細は授業中に指示する。

教科書・参考書

京郷新聞の新聞記事

受講に当たっての留意事項

特別な事情がない限り、欠席しないこと。教材中に不明な語句、とくに時事用語などがある場合は必ず調べてから発表すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

実用的な語学力を養成し、卒業論文に使用する韓国語文献を熟読できるなどの効果を期待している。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習